



市内で初 中門前屋主屋が 国登録有形文化財に

概 要	国の文化審議会が令和3年7月16日、山崎町山崎の「中門前屋主屋」を国の登録有形文化財（建造物）に登録するよう文部科学相に答申する予定です。宍粟市内では初めての国登録有形文化財（建造物）です。		
	報道解禁日時 令和3年7月16日17時		
	答申された登録候補物件（1件）		
	名 称 中門前屋主屋 1棟		
	所在地 宍粟市山崎町山崎字西新町10番地1		
	建設年代 嘉永4年（1852年）		
	特 徴 等		
	中門前屋主屋は、城下町山崎の酒蔵通りに南面する商家で、構造は切妻造平入、屋根は^{なかもんぜん や おも や}棧瓦葺きとしています。屋内は東に通り土間、西に二列六室を配し、背後に平屋の台所棟が突き出しています。正面は下屋を付し、戸口の両脇に出格子を備え、二階は三か所の窓に平格子を入れています。間口が大きく、軒裏まで漆喰塗で仕上げた重厚な構えとなっています。 中門前屋は江戸時代から醤油醸造を営んでおり、主屋は商家に伝えられた史料により江戸時代末の嘉永4（1852）年に建設されたものです。城下町山崎の歴史的景観に寄与し、城下町の歴史を物語る貴重な建造物です。 建物は令和元年に改修され、現在は古民家ホテルとして活用されています。今後は山崎地区の観光振興などにも寄与するものと期待されます。		
参考資料			
担当者から	宍粟市で初めてとなる国登録有形文化財について周知をお願いします。		
問合せ先	所属 社会教育文化財課	担当 田路 正幸	TEL 0790-63-3117

宍粟市山崎町山崎
中門前屋主屋
正面（南東）外観



宍粟市山崎町山崎
中門前屋主屋
正面外観



宍粟市山崎町山崎
中門前屋主屋
北座敷

